

事務連絡
平成 26 年 11 月 20 日

一般社団法人
日本経済団体連合会産業政策本部長 殿

復興庁統括官

社内マルシェ開催等に関する情報発信の強化について（依頼）

日頃より、東日本大震災からの復旧・復興に向け被災地域へ多大なるご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

特に、被災地産品の贈答品での活用や社員食堂での利用、社内マルシェ等の開催について、これまで様々な取組を行っていただき、あらためて感謝申し上げます。

今般、復興庁では、風評対策をより一層強化する観点から、下記 1 のとおり「新しい東北」官民連携推進協議会の専用ウェブサイト¹を拡充し、社内マルシェ等の開催情報をイベントカレンダー形式で掲載するとともに、被災地産品の活用事例の情報を広く発信していくこととしました。

貴団体及び貴団体の会員企業におかれては、下記 2 のとおり風評払拭に向け更なるご協力をお願いいたします。

記

1. 復興庁の取組方針

復興庁では、貴団体及び貴団体の会員企業の皆様のご協力を得て、昨年 12 月に「新しい東北」官民連携推進協議会²を設立しました。同協議会では、被災地における復興に向けた取組や、これを支援する取組に関する情報を収集して専用のウェブサイト（<http://www.newtohoku.org/>）に掲載し、これを「被災地の挑戦を支援する情報ポータルサイト」と位置付け、被災地はもちろん、全国に向けて情報発信を行っています。

今般、復興庁では、風評対策をより一層強化する観点から、この情報ポータルサイトを拡充・活用し、社内マルシェ等の開催情報をイベントカレンダー形式で掲載するとともに被災地産品の活用事例の情報を幅広く集約・掲載することとしました。より

多くの方々に対し、これらの情報を効果的に発信できるよう、広く情報を収集し、掲載していくことを目指します。

また、社内マルシェ等の開催等に関して、マスコミに対して定期的に情報提供を行うなど、様々な機会を捉えて積極的な情報発信を行います。

2. 貴団体へのお願い事項

貴団体におかれましては、貴団体の会員企業の皆様に対し、社内マルシェ等の開催情報及び被災地産農林水産物を使用した新商品の開発・販売や社員食堂、贈答品等での被災地産品の活用事例の情報を「新しい東北」官民連携推進協議会事務局（以下「協議会事務局」という。）あてにご登録いただきますよう、周知をお願いいたします。

なお、「新しい東北」官民連携推進協議会では、ウェブサイトにて情報掲載させていただく際、協議会への会員登録をお願いしています。会員登録は無料であり、参加を求められる会合等はありませんので、是非とも、ご協力をよろしくお願いいたします。

【社内マルシェや被災地産品の活用事例に関する情報の登録方法】

協議会の会員登録時に協議会事務局より送付された登録様式（社内マルシェ等については「3. イベント情報」、被災地産品の活用事例については「4. 会員の皆様の支援活動のご紹介」）に必要事項をご記入の上、電子メールにて以下の協議会事務局までご提出ください。登録様式をお持ちでない方におかれましても、電子メールにて協議会事務局にお問い合わせください。

提出・問い合わせ先：

「新しい東北」官民連携推進協議会事務局（みずほ総合研究所株式会社）

メールアドレス：nt-info@mizuho-ri.co.jp

※電子メールにてお問い合わせください。

参 考：情報掲載先サイト（「新しい東北」官民連携推進協議会 ウェブサイト）

<http://www.newtohoku.org/>

【「新しい東北」官民連携推進協議会への会員登録方法】

以下のURL（会員公募について）内「（4）応募方法」よりダウンロード頂ける応募様式に必要事項をご記入の上、電子メールにて以下の協議会事務局までご提出ください。なお、会員登録は、原則、各企業・法人1名までとさせていただきます。

協議会では、ウェブサイトでの情報共有・情報交換の他に、年3回程度、任意参加の「会員交流会」の開催等の取組を行っております。

提出・問い合わせ先：

「新しい東北」官民連携推進協議会事務局（みずほ総合研究所株式会社）

メールアドレス：nt-member-touroku@mizuho-ri.co.jp

※電子メールにてお問い合わせください。

会員公募について：<http://www.newtohoku.org/recruitment2>

協議会の活動：<http://www.newtohoku.org/works>

◆問い合わせ先（事務連絡全般）

- ・「新しい東北」官民連携推進協議会について
復興庁総合政策班 TEL：03-5545-7463
- ・社内マルシェ等の開催情報について
復興庁原子力災害復興班 TEL：03-5545-7315
- ・被災地産品の活用事例について
復興庁産業振興班 TEL：03-5545-7283

「新しい東北」官民連携推進協議会ウェブサイト掲載イメージ

＜社内マルシェ開催情報掲載イメージ＞

新しい東北 「新しい東北」官民連携推進協議会 ウェブサイト

被災地の新たな挑戦を支援する情報ポータルサイトです。

会員専用サービスログイン ▶ お問い合わせ ▶

官民連携推進協議会とは	協議会の活動	復興金融ネットワーク	よくあるご質問
支援情報データベース	ご支援いただける方を募集しています	イベントカレンダー	会員による多様な取組

ともに働く。ともに育つ。
WORK FOR 東北

400名
専攻、希望
被災自治体とともに働く、
企業人材求む！

復興ビジネスコンテスト2014
詳しくはこちら ▶

「新しい東北」官民連携推進協議会
会員募集中
応募要項はこちら

支援情報 Pickup !

「イベントカレンダー」
に掲載されます。

今月のイベント情報

- ▶ 10月03日 [経団連・J A・日経 被災地応援マルシェ](#)
- ▶ 10月10日 [健康で元気なまちづくり 講演会&パークゴルフ大会 \(NPO法人ターナー会 伊達市の未来を考えるプロジェクト\)](#)
- ▶ 10月13日 [「Present Tree in 宮古」第三回植樹イベント \(認定NPO法人環境リレーションズ研究所\)](#)
- ▶ 10月16日 [「WORK FOR 東北」個別相談会について \(日本財団\)](#)
- ▶ 10月25日 [関西起業塾 \(東北大学地域イノベーション研究センター・関西経済連合会\) 10月開催](#)
- ▶ 10月25日 [健康で元気なまちづくり 講演会&パークゴルフ大会 \(NPO法人ターナー会 伊達市の未来を考えるプロジェクト\)](#)
- ▶ 10月25日 [わが家の災害対応ワークショップ in 仙台～各家庭に必要な災害対策を考えよう！～ \(ピースポート 災害ボランティアセンター\)](#)
- ▶ 10月29日 [「WORK FOR 東北」個別相談会について \(日本財団\)](#)

東北復興コラム

事業主体
復興庁
Reconstruction Agency

トップページの
「今月のイベント情報」
にイベント名を掲載します。

10月6日 効果の出るヨソモノ活用の仕組みとマネジメントとは？

- 平成26年
- ▶ 10月
- ▶ 11月
- ▶ 12月以降
- 随時開催
- 過去のイベント

新しい東北 復興ビジネスコンテスト 2014

詳しくはこちら

「新しい東北」官民連携推進協議会
会員募集中
応募要項はこちら

東北復興コラム

イベントカレンダー

平成26年10月開催

日時	場所	イベント名
2014年10月25日(土) 13時30分~15時30分	東北大学片平キャンパス 片平北門会館2階エスパス	関西起業塾（東北大学地域イノベーション研究センター・関西経済連合会）10月開催 新たな商品やサービスを生み出し、業界をリードする数々のトップ企業を輩出してきた関西から、第一線で活躍する経営者が来校します。東日本大震災からの復興支援の一環として、東北地方の若手経営人材と学生たちに、創業や経営における発想の原点やポイント、これからの東北を担う企業づくり・新事業づくりのヒントを語ります。
平成26年10月25日(土) 8:15集合	パークゴルフ大会：万葉パークゴルフ場	健康で元気なまちづくり 講演会&パークゴルフ大会（NPO法人ターナー会 伊達市の未来を考えるプロジェクト） 伊達市が取り組んでいる「健幸都市構想」について、広く市民に周知し、特に高齢化が進む伊達市において、健康で元気に過ごすことができるまちづくりについて考えていく。

「イベントカレンダー」のページに詳細を掲載します。

※なお、「イベントカレンダー」のページには、社内マルシェ以外の情報(ワークショップ、説明会等)も掲載されているため、今後、イベントをカテゴリごとに分類して表示する等、より見やすくなるような改定を検討しています。

<被災地産品の活用事例掲載イメージ>

官民連携推進協議会とは	協議会の活動	復興金融ネットワーク	よくあるご質問
支援情報データベース	ご支援いただける方を募集しています	イベントカレンダー	会員による多様な取組

ともに働く。ともに育つ。
WORK FOR 東北



「新しい東北」復興ビジネスコンテスト 2014
詳しくはこちら▶

「新しい東北」官民連携推進協議会
会員募集中
応募要項はこちら

支援情報 Pickup!

「会員による多様な取組」
に掲載されます。

新たな挑戦

- ▶ 子育て・教育
- ▶ 医療・介護・健康
- ▶ 環境・エネルギー
- ▶ まちづくり・インフラ
- ▶ コミュニティ再生
- ▶ 農林水産業
- ▶ ものづくり
- ▶ 観光・商業・サービス業

多様な支援活動(0)

- ▶ 人材の派遣・育成(0)
- ▶ 被災地産品の活用(0)
- ▶ 企業のCSR活動(0)

会員による多様な取組

会員の皆さまによる人材の派遣・育成や、被災地産品の活用等、被災地の復興に向けた多様な支援活動をご紹介します。

■検索条件

検索ワードを入力してください

地域を選択して下さい

支援の種類を選択して下さい

■検索結果

データがありません。

最初へ

前の10件

1/0

次の10件

最後へ

「被災地産品の活用」
に掲載されます。

<被災地産品の活用事例紹介イメージ>

株式会社AAAA



東北復興支援商品の販売

株式会社AAAAでは、東北の復興を支援する商品として、宮城県産イチゴを使用した「〇〇ケーキ」及び福島県産桃を使用した「△△ケーキ」を期間限定で販売します。対象商品の売上金の一部を、株式会社AAAAが設立した奨学金制度である「××」に寄付します。

[詳しくはこちら](#)

株式会社BBBB



社員食堂での福島県産品の使用

株式会社BBBBでは、被災地の農産物の消費拡大を通じて、被災地の復興を支援するため、全国の拠点事業所の社員食堂において、福島県産食材を使用したメニューの提供を行います。

[詳しくはこちら](#)

株式会社CCCC



お歳暮、株主総会のお土産等での被災地産品の活用

株式会社CCCCでは、被災地の復興支援の一環として、お歳暮や株主総会のお土産等で被災地産品の活用を行っています。
前回の株主総会では、お土産として福島県のオリジナルブランド米「天のつぶ」と福島県が全国に誇る焼き物の一つである「大堀相馬焼」を用意しました。

[詳しくはこちら](#)